

## Hitachi DZ-MV580 使用法 (2004/4/21, 亀田能成)

1. 撮影者は司会の先生から DVD-RAM メディアを受け取る。
2. 使用する DVD-RAM メディアには A・B 面があるのでこれから **記録する面がどちらか、よく確認** すること (1 人当たり片面 30 分を使用するので場合によっては 2 名で 1 枚のメディアの片側ずつを使用する)。メディアに直接触れないように注意。記録する側のメディア保護カバーにラベルを貼るところがあるので、ラベルに氏名と日付を書いて貼っておくこと。ケースにも氏名、日付を記入すること。(メディアの包装ビニールは各自で捨てておくこと。)
3. 本体を三脚上に設置し、**電源をコンセントから取るように接続する**[P.23,P.47] (バッテリーでは最後まで持たない)。スクリーンがほぼ撮影画面いっぱいに映るように位置・向きを調整すること。三脚用のアタッチメントは本体底面についているので、三脚上部のレバーを引いてカメラ & アタッチメントを差込み、固定する。音量調整 (自動のみ) はできないので、**あまり演者から遠いところに設置しないこと (プロジェクタから 1 ~ 2 m ぐらいなら問題ない)**。
4. ディスク取り出しボタンを押して、蓋を開ける [P.23,P.48]。(数秒かかるので慌てない。取手が邪魔で蓋が開ききらないかもしれないので、そのときは自分で大きく開ける。)
5. メディアを挿入する。向きに注意。(本体内部に向きが指示されている。)
6. 手で蓋を閉める。
7. 電源スイッチを【動画】に合わせて、起動する。
8. 「ディスク認識中です」と表示されるはずなので、そのまま 20 秒弱待つ。
9. 右上に「残り 30 分」、左下に「RAM / FINE」、右下に現在時刻などが表示される。録画モードが **FINE** であることを確認すること。(「FINE」でなければ、取扱書を見て録画モードを「FINE」に変更すること [P.103]。)もし下のほうにモードや日付が表示されていないければ、LCD モニター格納部本体側にある「画面表示」ボタンなどで表示させて確認する。(FINE なのに残り時間が 30 分でない場合はメディアの使用面を間違えている可能性がある。)
10. 録画を始める前に、白トビ・黒トビがないようコントラストなどを確認すること [P.93-]。通常は「フルオート (LCD モニター格納部本体ボタン)」でよい。
11. 録画ボタンを押して開始。あとは、**質疑応答が終わるまで停止する必要は一切ない。基本的に講演者ではなく、スクリーンを撮影すること。(講演者がモノを提示しているような場合はそこだけそちらを撮ること。)**
12. コメント記入時間になったら、録画を停止する。
13. **時間に余裕があれば、メディアの当該面を書き込み禁止にすることを推奨する**[P.148]。
14. ディスク取り出しボタンを押して、メディアを取り出す。(録画停止直後などは蓋が開くまで十数秒かかるときもあるので注意。)
15. 最終録画者は電源を切り、片付ける。( **メディアを抜き取るまで絶対にコンセントは抜かないこと**。終了処理が終わる前にコンセントを抜くと、最悪の場合録画が全て失敗に終わる！)
16. メディアにラベルがついていることを確認し、司会の先生に提出する。